

2016年3月24日
株式会社 住金システム建築
代表取締役社長 加藤真一郎

関東地区で受注躍進

関東営業チーム（宇野チーム長）の受注が好調である。今期の通期受注高は前期29.1億円の40%増となる40.8億円に達し、過去最高となる見込みである。

当社は、2012年より関東エリアを、関東・北関東・東関東の3地区に分けて営業活動を行っている。現在の関東営業チームは東京本社を営業拠点とし、東京・千葉・神奈川・山梨・長野中部地区を対象に、地域密着型の営業展開を推進している。営業8名体制で、内1名が甲府に駐在している。受注が好調の背景として、当社は、基礎を含めた躯体コストを24時間で見積対応できるため、発注者側が初期段階で非常に精度の高いコストプランニングが出来ること、一般工法に対して低価格で短工期であること、元請ゼネコンの監督員不足や現場の職人不足が更に深刻化し、当社の商品のニーズが高まってきたことなどが挙げられる。

同地区の今期の成約棟数は46棟。内、用途別では、工場22棟、倉庫11棟、事務所5棟、その他8棟。商品別ではティオ26棟、トレオ20棟。建設地別では、東京8棟、千葉8棟、神奈川8棟、埼玉4棟、山梨1棟、長野2棟、その他地区15棟である。

1棟当たりの平均床面積は1,934㎡であった。

(※2014年度通期の受注棟数は42棟、平均床面積は1,808㎡)

全国の通期受注高は190億円台に達し、5年連続で過去最高を更新する見込みである（前期185億円）。主たる販売先である「住金システム建築会」の2月末の会員数は、前期末より154社増え1,366社となった。内、同地区は21社増え、195社である。



物件名／「TOS五反田メッセ計画」 建設地／東京都品川区
用途／展示場 商品／トレオ / 施工床面積2141.4㎡
建築主／株式会社デーオーシー様
設計／株式会社内藤ハウス様 施工／株式会社内藤ハウス様
特記／自由型商品トレオの採用でデザイン、低価格、短工期が評価された。